

<横浜市議員（旭区選出）古川なおきの市政報告>

第64号
2007年2月15日
一月刊一



古川なおきレポート

古川レポート編集部 〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘252-50
(インターン生：塚本) TEL.045-391-4000 FAX.045-366-9700 naoki@furukawa2002.com

高齢者福祉を考える

↓昼食会の様子



先日、一人暮らしの高齢者の皆さんと一緒に昼食会に参加する機会をいただきました。希望が丘南区のボランティアの皆さんが中心になって活動している「梅の会」です。月に一度、町内会館で昼食会と、お弁当の宅配を行っています。当日は、手作りのおいしいランチをいただき、ゲームをするなど、のめりこみで楽しんでいました。煮物やきんとん等、お正月の雰囲気を出したメニューで手作りのあたたかみを感じました。料理はボランティアの方々が前日かから心を込めて作り、朝早くから準備した伺いませ。私の隣には、今でも現役でスキーを滑る秋田県出身で90歳のお母様が座りになり、いろいろとお話させていただきました。私は生まれ時から祖母と同居していましたが、昔話や昔からのみでした。関東大震災や戦争のこと、諺や昔からの言い伝え等を聞くことが大好きでした。今は亡き祖母に、人生を歩んで行く上で様々なことを教えていただき、人生を歩んで行く上で様々なことを教えてくれたことが、お話を聞いていくと、祖母のことが思い出され、目頭が熱くなりました。人間は誰でもいつか年老いていくので、介護が必要になることもあれば一人暮らしになることもあれば、その方々の声を行政の施策に反映しなくてもいいと思います。病気になるまで入院しなくてもいいので、その方々の声を行政の施策に反映しなくてもいいと思います。病気になるまで入院しなくてもいいので、その方々の声を行政の施策に反映しなくてもいいと思います。

さて、今月8日から横浜市会定例会がスタートし平成19年度の予算を3月20日まで審査します。平成19年度の老人保険医療事業費は一千九百七十九億円で前年度より26億円の増、介護保険事業費は一千五百九十五億円で前年度より百億円の増と、ますます高齢社会になる訳です。

予算はさらに増え続けます。特養ホームでは、要介護度3以上で約2900人の方が待機していますが、現在年間900床ずつ整備されていますが、整備不足が課題となっています。認知症の方は増え続け、介護していただく人が変わると認知症が進行する恐れがあるので、同じ介護者がデイサービスやホームヘルパー、ショートステイに対応していただくような小規模多機能型居宅介護事業所の整備も急がれます。そして、そもそも寝たきりにならないための介護予防事業も大切です。軽い運動や体操を行っていただくと、高齢者の皆さんの活動もさらに支援しなければならぬと思います。若いうちに1人が高齢者ですが、私が生きていけば82歳になる二〇五〇年には3人に1人が65歳以上の高齢者になります。旭区は高齢者が5万人を超え、市内で一番高齢者が多い区なので、特に高齢者福祉には力を入れなければなりません。限られた予算の中で福祉を充実するためには、徹底的に行改革を行って、公務員と議員の定数を削減し、無駄に使われる税金をカットすることだと思っております。そして何よりもボランティアの方々の方が重要です。今年、困窮の世代の方々が大量に退職されています。多くの方が再就職を希望されているようですが、地域でボランティア活動をされることも意義のあることだと思います。いかにスムーズに地域デビューできるかが課題ですが、ボランティアの現場では人が不足していますので、大歓迎されると思います。ボランティアは多くの友人ができて楽しく過ごせ、人に喜んでいただくことでお金には代えることのできない感動や生きがいを感じることができると思います（裏面にボランティア募集情報のアドレスを掲載しました）。地域の防犯は、旭警察署と地元町内会を中心としたボランティアの方々のご協力により市内での犯罪発生率が最も低く、旭区は市内で一番安全に暮らすことができる街になりました。偉そうに申し上げるようですが、私も努力させていたただきたいと思っております。今シーズンには暖冬ですが、お身体には十分お気をつけていただき、お元気に過ごしてください！

横浜市議員 古川なおき

学生の想い ～古川なおきさんとともに活動して～

・・・寒い、とにかく寒い。世間では今年は暖冬といわれていますが、さすがに夜明け前の冷え込みは厳しいです。

古川なおきさんの朝は駅での市政活動報告から始まります。古川さんは26歳の初当選以来、政治に信頼を取り戻したいと考え市政活動報告を既に通算700回以上も行っていて、その信念たるやとても半端なものではありません。

私は塚本勇太と申します。神奈川大学の4年生です。将来は地元の千葉から政治家になり、地方政治の一翼を担おうと、約1年半前からボランティア学生の1人として古川さんと行動を共にしています。いつも、古川さんの近くでこの『古川なおきレポート』を配っているメガネの学生です。私を見かけた方はぜひお声をかけてください！！

それはさておき、朝の駅頭で『古川なおきレポート』を配っていると、いろいろな方と会うことができます。笑顔で『古川なおきレポート』を受け取ってくださる方、いつも挨拶をしてくださる会社員の方、下を向き怪訝そうな表情で通り過ぎてしまう方、時には罵声を浴びせられることもあります。どんな方との出会いも学生の私にとってはただただ勉強になります。そんな中で感じることは、それは、朝なのになんとなく無表情で疲れたような方が多く、政治に対して無関心そうな方が多いということです。古川さんは私たち学生に対してよくこんなことを口にします。「考えが変わってボランティアをやめてもいい、ただ政治には関心を持ち続けてほしい」と。はじめのうちは古川さんが何を言っているのかよく分かりませんでした。というのも、それまでの自分は、政治家は自分の保身とお金のことしか考えていないのではないかと、という誤った先入観を持っていたからです。しかしこの1年半、古川さんと行動を共にするうちに、いつしか間違った先入観は消えてなくなり、古川さんと同じ気持ちで朝の駅に立つようになりました。政治は赤ちゃんから高齢者まで誰でも関係しているもの、駅を通る皆さんにもまずは政治に関心を持って欲しいです。そして私は朝の駅頭から無関心をなくし、横浜を、日本を変えていきたいと思えます。

こんなことを言うと学生の分際で何を生意気なことを、とお叱りを受けてしまうかもしれません。ただ私も、また、事務所に集まるほかのボランティア学生も皆、それぞれが自らの手でこの社会をよくしていきたいという熱意に溢れた仲間たちで、先に述べたような「無関心をなくそう！日本を変えよう！」という気概をもって活動しています。

幸いにして、私の近くには古川なおきさんという同じ志を持った政治家がいるので、大学を卒業する3月までは、この『古川なおきレポート』を通じて古川さんの政策を伝え、政治に対する無関心を払拭するために、全力で努力したいと思っています。また社会に出た後も、今の気持ちを忘れることなく日々勉強に努めて社会に貢献していきたいと考えています。

どうか皆さんも政治に関心を持っていただきたい。これがメガネ学生のただ1つの願いです。

学生ボランティア募集！
僕達と一緒に学ぼう！

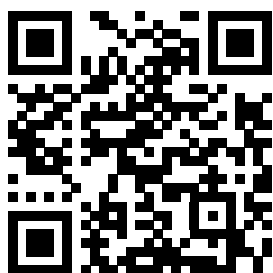
神奈川大学4年生 塚本勇太

(議員インターンシップ参加：2005年夏～)

古川なおき携帯サイトはQR
コードからご覧いただけます！
ブログもぜひご覧ください！

☆QRコード対応の携帯電話でQR
コードを読み取る方法(FOMAの場合)

- ①カメラを起動
- ②メニュー(機能)
- ③カメラモード切替
- ④バーコードリーダー
- ⑤コード読み取り



ぜひお試しください！
ご意見・ご感想も
お待ちしております！

<ボランティア・情報サイト>

- 横浜市市民活動支援センター
<http://www.npo-c-city-yokohama.jp/databank/>
- 横浜市社会福祉協議会・ボランティアセンター
http://www.voraemon.com/021_volajouhou.html
- (財)横浜市国際交流センター
<http://www.yoke.or.jp/nihongomap05/bosyu.html>
<http://www.yoke.or.jp/tsuyaku/index.html>

古川なおきプロフィール

昭和43年8月31日横浜市生まれ 38才
 県立希望ヶ丘高校・明治大学卒業
 横浜銀行勤務後、議員秘書となる
 平成7年横浜市議員初当選(26才)
 平成18年度市民活力推進・教育委員会
 副委員長
 同 青少年市民スポーツ特別委員会
 自民党横浜市支部連合会青年局長
 日本動物福祉協会横浜支部支部長

鶴ヶ峰商店街協同組合顧問
 希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会評議員
 旭区スポーツダンス協会顧問
 旭区サッカー協会顧問
 学校法人 八洲学園 理事
 NPO法人スクール・エド・ジャパン理事
 卓球本間クラブ所属
 横浜青年会議所(JC)
 明治大学公共政策大学院在学中